

授業科目	校内練習船実習			担当教員	永本・豊田・他		
学 科	商船学科(航海)	学 年	5年	授業期間	集中授業	単位数	1
分 野	専門	授業形態	実習・講義	履修区分	必修		
学習目標	航海に関する技術の、実船による基礎訓練及び船内勤務、船内生活を体験せしめ船員としての資質を涵養し将来に資する。						
進め方	校内練習船を用い、夜航海を含む3泊4日の航海実習を行う。 実習内容に応じて班編制を行い実習効果をあげる。 大型練習船に備え、船内生活及び航海技術の習熟を行う。単位認定試験を実施する。						
学習内容	学 習 項 目 (時間数)			学習到達目標			
	<ul style="list-style-type: none"> ・実習内容のガイダンス及び航海計画の立案(実習前課外授業で3時間程度) ・船橋当直要領 (6) ・地文航法 (3) ・天文航法 (3) ・電波航法 (3) ・出没方位角の算出 (1) ・レーダー・ARPAの使用法 (6) ・船体の構造、設備、復元性等 (3) ・操船法 (3) ・船舶の出力装置 (3) ・捜索及び救助 (3) ・乗組員の管理、訓練 (3) ・レーダー・ARPA講習(課外授業) (6) 			<ul style="list-style-type: none"> 実習内容の把握、航路選定の習熟 当直法、行船法、避航法、夜航海技術の習熟 各種航法、船位決定法の習熟 天体による、位決定法の修得 各種電波計器による、船位決定法の修得 出没方位角測定によりジャイロエラー検出 適正な使用法の習得 復元性、トリム等に関する計算法修得 操縦性能を理解し入出港操船法を修得 出力装置の作動原理、制御法を熟知 捜索、救助に関する知識を習得 安全、健康管理、災害防止対策を理解 ・レーダー・ARPAについて基本的知識を修得 			
養成施設 引当て科目 &単位	航海コースのみ						
	航海計器	0.1	航海計画	0.1	衝突予防法	0.1	
	地文航法	0.1	船舶の構造	0.1	船舶の出力装置	0.2	
	天文航法	0.1	当直	0.1			
	電波航法	0.1	操船	0.1			
			捜索及び救助	0.1			
免許講習 引当て時間	レーダー観測者・講義 5時間 実技 3時間 ARPA・・・講義 1時間 実技 3時間 救命・機関救命・講義 時間 実技 時間						
評価方法	単位認定試験40%、実習に臨む態度40%、課題及び実習ノート20%として評価する。						
関連科目	航海系専門科目全般						
教科書等	【書名】練習船、積載航海計器、付属図面及び図書、実習ファイル、その他配布プリント		【著者】		【発行所】		
備 考	けが、病気に注意。 授業開始及び終了時の人員確認、保護具の着用。						